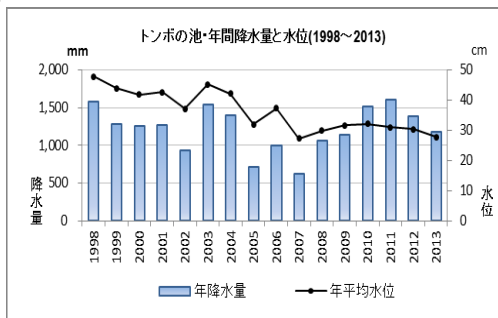


「トンボの池」・15年目の改修（2013年）

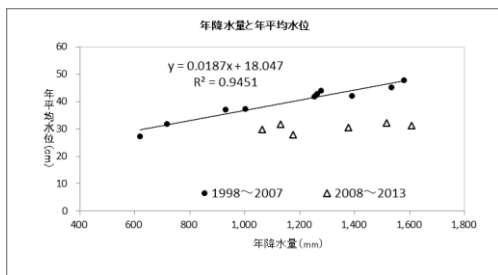
白木 茂（自然遊学館わくわくクラブ）

図-1



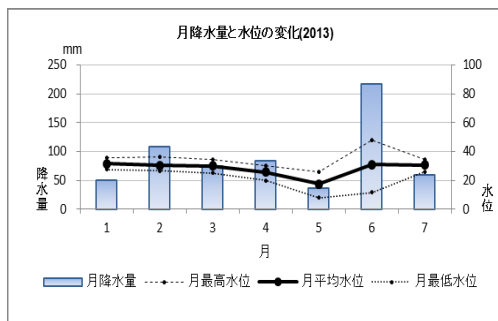
●「トンボの池」の生きものを支えている「水」は雨水です。図-1の棒グラフは、現地で降水量観測を開始した1998年から16年間のデータをまとめたものです。当地は少雨の瀬戸内式気候に属していますが、年降水量は1,500mm～500mmと変動が大きい特徴が見られます。

図-2



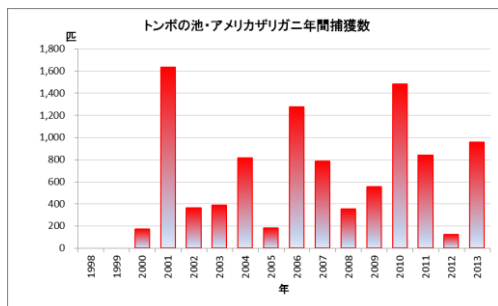
●図-1の折れ線グラフは「トンボの池」の年平均水位を表示しています。2007年までは降水量が多いと年平均水位も高く維持される傾向が見られましたが、2008年以降は雨が多くても年平均水位が高くなることはなく30cmで頭打ち傾向となっています。図-2の散布図でも2007年まで（●印）と2008年以降（△印）の傾向の違いは明らかです。

図-3



●図-3は、2013年の月別降水量と水位を表示したグラフです。2月と6月には例年より多い降水量が見られましたが、水位は連動せず平均水位は約30cmでした。平均水位が30cm以上とまらないのは、側壁からの漏水が考えられます。平均水位を1998年代の40cm台とするには水を抜き側壁の漏水を防ぐ池の修理が必要と思われました。

図-4



●これらを踏まえ、7月13日からトンボの池を「干す」とし、池の漏水防止、アメリカザリガニの捕獲、「トンボの小橋」の架け替えと橋下の礫間浄化装置の撤去、小池側の湿地化などの改修工事を実施することとしました。

●トンボの天敵、アメリカザリガニの捕獲数は6月で591を数え、大発生の予感がしました。これまで何回か実施した短期の「池干し」ではアメリカザリガニの減少は達成できていません。今回も「池干し」作業で捕獲した314匹に加え、その後もアメリカザリガニの捕獲は9月18日まで続き、その間に52匹を捕獲しました。アメリカザリガニの状態になるまで67日間を必要としました。



注) 本報告中、2013年の降水量や水位などの数値はアメリカザリガニ捕獲数を除き「池干し」前日（7月12日）までのものです。